

北郷里小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調 査 場 所 名 (No.)			垣龍町内 No.1				春近町内 No.2				No.3				
月 日 時 刻			5月30日		14時00分		6月4日		14時00分						
天 気			晴れ				晴れ								
水 温 (°C)			24.0 °C				22.0 °C								
気 温 (°C)			27.0 °C				30.0 °C								
川 幅 (m)			1.6 m				1.5 m								
河 川 名			春近川上流				春近川下流								
生 物 を 採 取 し た 場 所			川の中央				川の中央								
水 深 (cm)			6.0 cm				5.0 cm								
流 速 (cm / s)			42.0 cm/s				40.0 cm/s								
水 の よ う す		指標生物													
I きれ い	1	カワゲラ類	○												
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類													
	3	ヒラタゲロウ類	○												
	4	ブユ類													
	5	ヘビトンボ類	○												
	6	ガガンボ類													
	7	サワガニ	●				●								
I ・ II 共 通	8	ウスムシ類													
	9	2以外のトビケラ類													
	10	3、14以外のカゲロウ類	○				○								
II 少しよごれている	11	ヒラタドロムシ類					○								
	12	シジミ類	○				○								
II ・ III 共 通		13	カワニナ	○				○							
III よごれている	14	サホコカゲロウ													
	15	ヒル類													
	16	ミスムシ													
	17	モノアラガイ													
III ・ IV 共 通		18	サカマキガイ												
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ													
	20	イトミミズ類					○								
	21	ハナアブ類													
水 質 判 定 表	水のようすの区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	5	3	1		2	4	1	1					
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)	1				1								
	合 計 (1欄+2欄)		6	3	1		3	4	1	1					
	判定結果(合計が最も大きい区分)		I				II								

調査考察、活動内容等

我が校では、昨年に引き続き、4年生全員が総合学習の一環として水生生物調査に取り組みました。調査する河川は学校のすぐ近くを流れる春近川です。この春近川の上流と下流に分けた二つの地点を毎年調査するようにしています。毎年同じポイントを調査することで、水生生物の生息の実態から水の汚れ具合を比較することになっています。毎日見ている馴染みの河川を調べることで、子ども達の意欲も高まり、水質の現状をよりリアルに感じてもらえると考えます。この学習を通して、様々な水生生物を発見する楽しさを体験することにより、春近川の状態を推測することができました。

○春近川 上流

5月30日 14時 天気：晴れ
水温：24℃ 気温：27℃
川幅：1.6m 水深：6cm
川底：小石と砂
水のおい：感じられない
水の濁り：透明できれい



春近川は、江戸時代から姉川の水を底樋で引いてきた水が流れています。現在、川の側面は、丁寧に石垣が傾斜をつけてしきつめられ、きれいに整備された川となっています。初めの調査ポイントは北郷里小学校から500mほど北東へ上った上流で行いました。田んぼの中に位置するこの場所は、子ども達にとって、いつも見ているが実際に川の中に入るのは初めてだという状況でした。この日は晴れで、調査もしやすかったです。

まず、各グループで川から水生生物をとり、バケツに入れました。そのバケツを調査員の先生の手も借り、学校に持って帰って、種類ごとに分類し、調査結果表に当てはめながら、水の状態を推測していきました。

調査の結果、最も多く見つかった生物は、サワガニ、次いで多かったのが、カワゲラ類、ヒラタカゲロウ類、ヘビトンボ類、シジミ類などでした。水生生物から判定すると、水の状態は、「きれい」と判定できました。

子ども達は普段から目にしている川にこんなにも多くの生物がいることに驚き、虫とりなどが苦手な子でも、たくさんの水生生物がとれたことに感激していました。調査が終わった後、水生生物を元の川に放流することで、生き物の命の大切さを感じることもできました。

(環境日記より)

- ・あみでやるとカゲロウやトビケラがよく見つかりました。一番とれたのはサワガニでした。魚はぜんぜんいなかったけど、カニや貝がたくさんとれたので、きれいな川なのかなと思いました。
- ・とれた生き物は、サワガニ、スジエビ、カゲロウなどでした。生き物を調べた結果、春近川の水はややきれいでした。川の生き物で、水のきれいさがわかるのはすごいと思いました。
- ・水の中を網でガサガサするだけで、たくさんの生き物がとれました。特に、サワガニがたくさんとれてびっくりしました。

○春近川 下流

6月4日 14時 天気：晴れ
水温：22℃ 気温：30℃
川幅：1.5m 水深：5cm
川底：小石と砂
水のおい：感じられない
水の濁り：透明できれい



次の調査ポイントは北郷里小学校から 300mほど南西に下った下流です。調査地点は、民家の間を流れ、側面をコンクリートや石垣で整備された川です。車が通る道沿いということもあり、安全を確認しながら調査を行いました。雨も降り出し、観察もやりにくい中、子ども達は元気に調査をしました。

調査の結果、最も多く見つかった生物は、上流と同じでサワガニでした。しかし、他に見つかったのはカゲロウ類、ヒラタドROMシ類、シジミ類などでした。イトミミズも発見することができました。水生生物から判定すると、水の状態は、「少しよごれている」になり、パックテストによる水質検査の結果も「少しよごれている水」と判定されました。見た目などでは、きれいな水だと思っていましたが、やはり少し汚れていました。

(環境日記より)

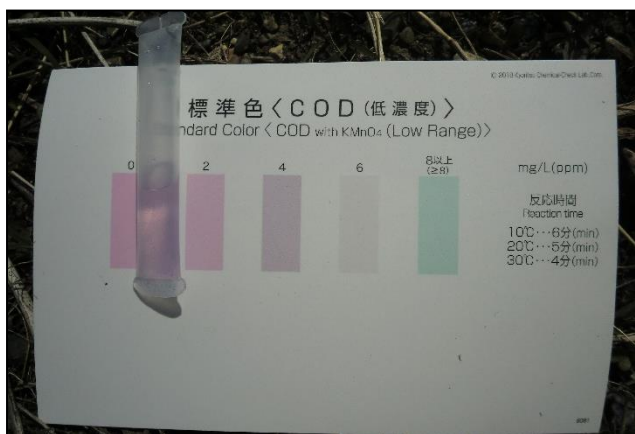
- ・ カニやイトミミズがとれました。他にもスジエビや小さな魚らしき生き物もありました。春近川下流の方は、ややきたない水でした。
- ・ 1 回目の上流の時はよく生き物がとれたけど、下流はなかなかとれませんでした。サワガニやイトミミズ、カゲロウがとれました。イトミミズがいたので、きたない水なのかもしれないと思いました。
- ・ 上流よりも生き物が少なかったです。サワガニしかとれなかったです。生き物が少ないので水が汚れているのかなと思いました。
- ・ 網でガザガザしても、生き物があまりとれませんでした。とれてもサワガニばかりでした。上流の方がきれいな水なので生き物が多いのだと思いました。

◇パックテストによる調査

上流、下流とも、その場所でパックテストによる調査を行いました。この調査方法も子ども達は興味・関心を持って、観察していました。水生生物から、水の状態を調査した後で、試薬を使って、その結果の裏付けをしました。パックテストをする前に子ども達からも水質について予想してもらいました。自分達がとった水生生物がどのような水に生息することができるかを調べ、パックテストの結果と照らし合わせるにより、一つの調査から結果を判断するのではなく、複数の結果から判定結果を導き出すことがより確かな調査方法であるということを学ぶよい機会となりました。

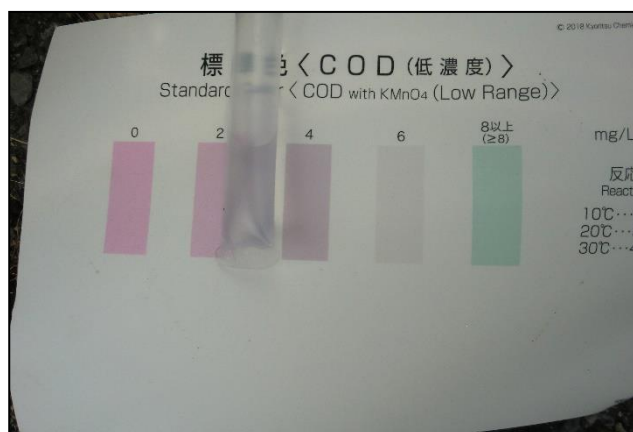
上流の結果

「2」・・・「きれいな水」と判定



下流の結果

「4」・・・「少しよごれている」と判定



調査してみて（調査隊の声）

- 川をきれいにするためにゴミなどは捨てちゃいけないと思いました。
- 今日勉強したことをお家の人に話して、川を守れるようにしたいです。
- また、自分達でも調査をしてみたいです。